令和2年度総研大基金 事業報告(主な活動)

総合研究大学院大学

1. 新型コロナウイルス感染対応に伴う緊急募金及び奨学金貸与の実施

新型コロナウイルス感染症の拡大は、本学の学生にも大きな影響を与えた。令和2年5月に実施した全学調査では、約26%の学生が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた経済的な不安を抱えていることが判明した。

そのため、総研大基金では、「新型コロナウイルス感染対応に伴う緊急募金」を実施し、99件(名)の方より寄附を得た。

この寄附金を原資として、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、修学が困難な学生を対象とした「新型コロナウイルス感染症返還免除付奨学金」を設け、支援希望のあった全学生(86名:全学生の15.8%)に令和2年度末迄の間、奨学金の貸与を実施した。

なお、寄附額を上回る奨学金貸与の希望があったため、不足額は、総研大基金の留保より補填を行った。

また、貸与学生の経済状況等を確認のうえ、経済的困窮が継続していることが確認された学生については、奨学金の返還を免除した。

2. 経済的困難を抱える総研大生を支援する継続型修学支援基金の募集開始 SOKENDAI 修学支援基金の一部として、「経済的困難を抱える総研大生を支援する継 続型修学支援基金」を設け、継続寄附を受けている。

3. 紺綬褒章の伝達式

修学支援基金に多額のご寄附をいただいた寄附者1名の方に紺綬褒章が授与されたことから、令和2年10月6日、学長から寄付者の方に伝達するとともに感謝の意を表明した。

4. 食堂休業補償の実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、葉山キャンパス内の学生食堂の営業 停止したことに伴う休業協力金を給付した。